

発達障がいの理解のために

1 発達障がいとは

発達障がいは、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの」と定義されています。（発達障害者支援法第2条）

発達障がいは、脳機能の発達が関係する生まれつきの障がいです。発達障がいがある人は、コミュニケーションや対人関係をつくるのが苦手です。

また、その行動や態度は「自分勝手」とか「変わった人」「困った人」と誤解され、敬遠されることも少なくありません。それが、親のしつけや教育の問題ではなく、脳機能の障がいによるものだと理解すれば、周囲の人の接し方も変わってくるのではないのでしょうか。

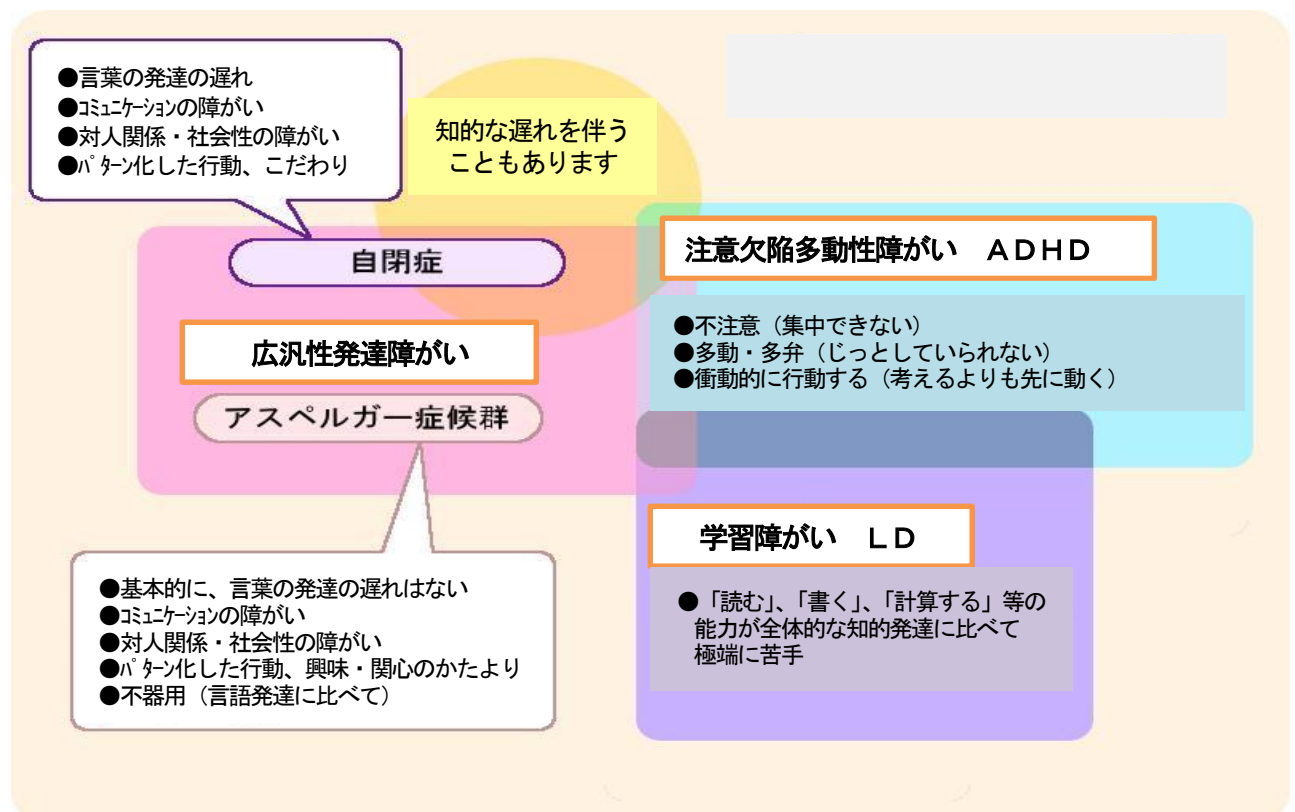
発達障がいの人たちが個々の能力を伸ばし、社会の中で自立していくためには、子どものうちからの「気づき」と「適切なサポート」、そして、発達障がいに対する私たち一人一人の理解が必要です。

〔引用文献：政府広報オンライン「発達障害って、なんだろう？」〕

2 それぞれの障がいの特性

自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がいなど、主な発達障がいの特徴を紹介します。

なお、発達障がいは、複数の障がいが重なって現われることもあり、障がいの程度や年齢（発達段階）、生活環境などによっても症状は違ってきます。発達障がいは多様であることをご理解ください。



〔引用文献：政府広報オンライン「発達障害って、なんだろう？」〕

3 配慮していただきたいこと

ご家庭や学校、職場など身近な場所で、発達障がいのある人に接する時、配慮していただきたい、基本的なポイントをいくつかご紹介します。

- (1) できたことをほめる／できないことを叱らない
- (2) 視覚的な情報を提示して説明する
- (3) 説明や指示は短い文で、順を追って、具体的に
- (4) 安心できる環境を整える
- (5) 善悪やルールをはっきりと教える
- (6) 発達障がいの子ども（人）を温かく見守る



〔引用文献：政府広報オンライン「発達障害って、なんだろう？」〕

4 こんなとき、どうする？

心配なことがあるとき、どうすればよいのかについて、具体的な例をQ&A形式でご紹介します。

Q 1 Aさんは小学校4年生の女の子です。お友達とかかわりたいようなのですが、「友達に嫌われた」「みんながわたしのことを仲間はずれにする」と言って、しょんぼりして帰宅してることがあります。授業参観に行ったところ、先生が説明している最中に隣の子に話しかけたり、「そんなこと知ってる。簡単すぎるよ！」などと大声で言ったりしています。周りのことを気にしていないようでした。どうしたらいいでしょうか。

A 1 他の子とかかわりたいという気持ちは大事ですね。
どうかかわったらよいか一緒に考えるようにしてはいかがでしょうか。
客観的に自分をとらえ直すには、例えば、Aさんの行動をちょっとした物語や紙芝居などにして話して聞かせる（見せる）という方法があります。

また、毎日授業中のおしゃべり我慢を目標に設定し、我慢できたらシールがたまっていって、10日我慢できたら家でご馳走にしてもらえということも良いかもしれません。

どうやって友達とかかわっていけばいいのか、一つ一つ具体的に一緒に考えていく事が大事です。



Q2 Bくんは小学校3年生の男の子です。学校の先生から「元気のよいお子さんなのですが、いつもイスをガタガタ揺らしたりおしゃべりが過ぎたりして、ちょっと落ち着かないところがあります。家庭ではどうしていますか」と相談をもちかけられます。家でも、静かにして欲しいときにも大声でしゃべり続けたりしてお母さんに叱られてばかりいます。どのように対応したらよいでしょうか。

A2 Bくんも、「今日はちゃんとできた」と嬉しく思っているかもしれません。

でも、そういうときに限って、周囲からみれば当然のことなので、そのBくんのがんばりは見過ごされがちです。ここで「よくやめられたね」と大人がほめてくれたら、Bくんは次もまたがんばってみようと思うはずですよ。

「じっとしている」ことが難しいのに加えて、授業に集中できない理由があることも考えられます。授業内容がBくんにとっては簡単すぎたり、あるいは逆に難しすぎたりすると、じっと先生のいうことに集中することは難しいですよ。

その場合は、先生と相談して、Bくんの理解度にあった課題を出してもらって、などの工夫が必要かもしれません。昼休みなどには思いっきり全身を使うような運動をして、エネルギーを発散させることが効果がある場合もあります。



Q3 Cくんは、小学校2年生の男の子です。小さいころから、ひょうきんで明るい子どもだったのですが、このごろ何となく元気がなくなり、学校の先生によると、とくに国語の時間になると不安そうにしているとのこと。確かに、日記や作文の宿題をみても漢字がほとんどなく、「苦手なのかなあ」とお母さんも気になっていたようです。学習障がいなのでしょうか？また、どのように対応したらよいでしょうか。

A3 ご家族が気づいていることは、Cくんにとって大きな助けになるはずですよ。大体のことがみんなと同じようにできるのに、ほんのちょっとしたことができないだけということは、本人から周りの人に言い出しにくくなっているのかもしれないかもしれません。彼自身、どうして漢字が書けないのかわからずに苦しんでいるのかもしれないかもしれません。漢字テストの答案用紙や、連絡帳やノートなどを確認し、どういう間違い方をしているのか分析してみましょう。

【確認するポイント】

- ・漢字だけが苦手なのか、ひらがなもたまに間違えているのか
- ・似たような形だが、全然別な漢字（たとえば顔→頭など）を書いているのか
- ・偏とつくりが入れ替わってしまっている字を書いているのか
- ・音は同じだけどちがう漢字を書いているのかなど

Cくんがまじめに漢字練習をしているのに書けないとすると、今までの練習方法では覚えられないのかもしれないかもしれません。できないのは、本人が怠けているためではないことを分かってあげ、まずは努力を認めてあげましょう。

Cくんが劣等感をもったり、やる気をなくさないように配慮しながら、一緒にどうしたらいいか考える家族の姿勢と援助が大切です。

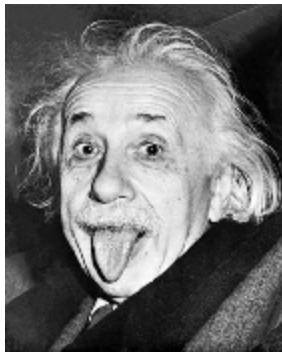


5 歴史に名を残す偉人たち

自分の特性を理解しながら夢をかなえた人がたくさんいます。

こうした人について知り、私たち一人ひとりが「違い」をもつ存在であることに気づき、「違い」をいじめや排除につなげるのではなく、認め活かすことが大事です。

次に掲げる人は、子どもの頃に、個性的で周りとは違うと見られていたが、周りの人の理解や本人の努力により、人より秀でた部分を伸ばして夢をかなえた代表的な人です。



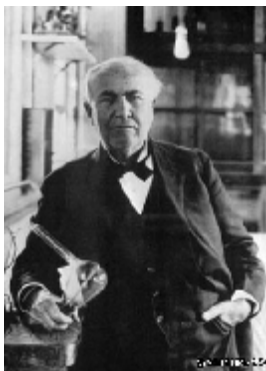
(アインシュタイン)

彼は4歳まで話さなかった。勉強も苦手で、友達ともなじまず、スポーツにも無関心、暗記ができない。質問してもすぐ答えず、答えても口の中で何度も繰り返している。大学受験にも失敗。後に彼は相対性理論の基礎を築き上げた。その業績から、20世紀最高の理論物理学者と言われている。1921年にノーベル物理学賞を受賞。



(アンデルセン)

少年時代、彼は文字を読むことが苦手だった。しかし、後に世界でもっとも読み継がれているたくさんのお話を創作した。デンマークの詩人・童話作家で、『みにくいあひるの子』『人魚姫』『はだかの王様』などが世界中で親しまれている。



(エジソン)

小学校に入学するも、教師と相性があわず中退した。小学校当時、算数の授業中には「 $1+1=2$ 」と教えられても理解することができず、「1個の粘土と1個の粘土を合わせたら、大きな1個の粘土なのになぜ2個なの？」と質問したり、国語の授業中にも「A（エー）はどうしてP（ピー）と呼ばないの？」と質問するといった具合で、授業中には事あるごとに「なぜ？」を連発していたという。電話機、蓄音機、電球、発電機などを発明し、「発明王」と呼ばれる。

6 相談機関

〔発達障がい者支援センター〕

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか（大阪市、堺市以外に在住の方）

TEL 06-6100-3003 FAX 06-6100-3004

<http://homepage3.nifty.com/actosaka/index.html>

大阪市発達障がい者支援センター エルムおおさか（大阪市在住の方）

TEL 06-6797-6931 FAX 06-6797-6934

<http://www16.ocn.ne.jp/~hattatsu/>

堺市発達障害者支援センター（堺市在住の方）

TEL 072-275-8506 FAX 072-275-8507

http://www.scswa.jp/12_hatutatu/12_hatutatu.html

〔児童相談所〕

大阪府子ども家庭センター（大阪市、堺市以外に在住の方）

中央子ども家庭センター

TEL 072-828-0161 FAX 072-828-5319

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kodomokatei/>

池田子ども家庭センター

TEL 072-751-2858 FAX 072-754-1553

<http://www.pref.osaka.lg.jp/ikedakodomo/>

吹田子ども家庭センター

TEL 06-6389-3526 FAX 06-6369-1736

<http://www.pref.osaka.lg.jp/suitakodomo/>

東大阪子ども家庭センター

TEL 06-6721-1966 FAX 06-6720-3411

<http://www.pref.osaka.lg.jp/higashi-osakakodomo/>

富田林子ども家庭センター

TEL 0721-25-1131 FAX 0721-25-1173

<http://www.pref.osaka.lg.jp/tondabayashikodomo/>

岸和田子ども家庭センター

TEL 072-445-3977 FAX 072-444-9008

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kishiwadakodomo/>

大阪市こども相談センター（大阪市在住の方）

TEL 06-4301-3100 FAX 06-6944-2060

<http://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000002786.html>

堺市子ども相談所（堺市在住の方）

TEL 072-245-9197 FAX 072-241-0088

http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/hughug/seishonen_oshirase/profile/kodomosodan/index.html

〔精神保健福祉センター〕

大阪府こころの健康総合センター（大阪市、堺市以外に在住の方）

TEL 06-6607-8814 FAX 06-6691-2814

<http://kokoro-osaka.jp/>

大阪市こころの健康センター（大阪市在住の方）

TEL 06-6922-8520 FAX 06-6922-8526

堺市こころの健康センター（堺市在住の方）

TEL 072-245-9192 FAX 072-241-0005

<https://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/hokencenter/kenkocenter/index.html>

〔教育センター〕

大阪府教育センター（大阪市、堺市以外に在住の方）

TEL 06-6607-7362 FAX 06-6607-9826

<http://www.osaka-c.ed.jp/karinaui/>

大阪市教育センター（大阪市在住の方）

TEL 06-6572-0567 FAX 06-6571-7924

<http://www.ocec.jp/center/index.cfm/12.html>

堺市教育センター（堺市在住の方）

TEL 072-270-5561 FAX 072-270-8130

<http://www.sakai.ed.jp/>

7 啓発冊子等（行政作成のガイドブック）

（1）福祉教育指導資料集

『ぬくもり 思いやりを行動へ』

制作 大阪府教育委員会市町村教育室小中学校課

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/nukumori/index.html>

→全文をホームページ上で公開しています

（2）冊子

『みつめよう一人一人を』（改訂版）

制作 大阪府教育センター 支援教育研究室

<http://www.osaka-c.ed.jp/tokushiken/mitumeyou.pdf>

→全文をホームページ上で公開しています

(3) 冊子

『ともに学び、ともに育つ 支援教育のさらなる充実のために』

制 作 大阪府教育委員会

小中学校課、高等学校課、支援教育課、人権教育企画課

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/tomoni-manabi/>

→全文をホームページ上で公開しています

(4) リーフレット

『LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群の理解と支援について』

制 作 大阪府教育委員会教育振興室障害教育課

大阪府教育センター特別支援教育振興室

<http://www.pref.osaka.lg.jp/attach/5023/00000000/LDADHD.pdf>

→全文をホームページ上で公開しています

(5) 冊子

『乳幼児期からの発達支援 なんでもかな…???は気づきのスタート』

制 作 大阪府福祉部障がい福祉室地域生活支援課

販売場所 大阪府府政情報センター（大阪府庁本館1階（大阪市中央区））

<http://www.pref.osaka.lg.jp/johokokai/jigyos3/kankobutu.html>

販売額 1冊90円

(6) 冊子

『ええやん ちがっても ～広汎性発達障がいの理解のために～』

監 修 大阪自閉症研究会

発 行 大阪府福祉部障がい福祉室

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kei-kakusui-shin/kankou/eeyan-tigattemo.html>

→全文をホームページ上で公開しています

(7) 冊子

『ええやん ちがっても（青年・成人版）～広汎性発達障がいの理解のために～』

監 修 大阪府こころの健康総合センター

発 行 大阪府福祉部障がい福祉室

<http://www.pref.osaka.lg.jp/kei-kakusui-shin/kankou/eeyan-tigattemo.html>

→全文をホームページ上で公開しています

(8) 冊子

『発達障がいガイド』

発 行 大阪市障害施策部障害福祉課

<http://www.city.osaka.lg.jp/fukushi/cmsfiles/contents/0000115/115943/pamphlet.pdf>

→全文をホームページ上で公開しています